

<p>△産業宣教/北朝鮮宣教局礼拝 危機に置かれた者を助けた産業人(ロマ 16:23)</p>	<p>△RT と TCK 伝道学 237 - 5000 種族を生かすレムナント</p>	<p>△核心/北朝鮮宣教局礼拝 サマリア伝道(使 8:4-8)</p>
<p>□序論_聖書、歴史</p> <p>1. 計算 x-契約 私たちは計算でなく契約だ。いつでも危機にあった人を助けるべきで、危機にあった国を生かすべきで、それが皆さんの大きい祈りにならなければならない。</p> <p>2. 利益 x-関係 私たちは利益が問題でなく神様との関係だ。</p> <p>3. 今日 x-未来 私たちは今日を見るのではなく未来を見るのだ。それで北朝鮮宣教以前に、危機に陥った人を助けなければならないという使命が先にならなければならない。</p> <p>△それでこそ、聖書を知って歴史を知ることだ。</p> <p>永遠の中の今日 永遠の中の今日だ。私たちが受けることは永遠に歴史の中に記録されるだろう。今日に見えるが、永遠の中の今日だ。一つの人生映画を撮ると考えれば良い。</p> <p>ロマ 16:23 助けてはいけない人々を助けたのだ。すべての伝道者を助けたのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 出 18:1-21 イテロ</p> <p>1) 殺人犯-指名手配 ひとまずモーセは殺人犯で指名手配されている。この人を助けたのだ。</p> <p>2) 婿 助けた程度でなく婿とした。</p> <p>3) 契約 この人はものすごい契約を持っている。初めて千人の長、百人の長という単語が出てきた。最後までモーセを助ける内容が出てくる。時代を変えたのだ。</p> <p>2. ヨシ 2:1-16 ラハブ</p> <p>1) 遊女ラハブ 単純に偵察を助けたのではない。</p> <p>2) 契約 神様を信じる信仰を告白して契約が出てくる。</p> <p>3) 未来 この人は重要な未来を話したのだ。現在のエリコの中にはみな崩れていることを話したのだ。それゆえ、確実な契約を持ってヨシュアが入った。</p> <p>3. II サム 17:27-29 バルジライ ダビデが王宮から追い出されたときに現れた人だ。食べ物、器、必要なことを王に与えた。</p> <p>4. I 列 18:1-15 100 人 王が殺そうとする預言者を 100 人隠したのだ。アラムの国を打ち破るものすごいことが起こる。</p> <p>△危機に置かれた人々を生かす者にならなければならない。そして危機に置かれた国を福音対象 1 位とすべきだ。</p> <p>5. <u>ロマ 16 章</u> この人々が全部危機を選択したのだ。</p> <p>□結論_ロマ 16:25-27 永遠</p> <p>神様は世々にわたって隠しておいたこと、とこしえまで神様に栄光帰すことを与えられたのだ。</p> <p>△産業人、特に長老は教会の中でいつでも危機に置かれた人を訪ねて行きなさい。</p>	<p>□序論_次世代(RT?TCK)</p> <p>実権を握った「次世代」の中から目が開かれた人が北朝鮮を生かす人だ。それなら、「RT-TCK」がとても関連性がある。</p> <p><u>歴史的証拠</u>-ローマの国教を宣言したコンスタンティヌスも、後ほどローマの皇帝になったが、驚くべきことに、難しい時期にコンスタンティヌスの母親は祈りの人だった。</p> <p>1. 契約を握って 2. 証拠がくれば 3. 証人として立つのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 237-RT - 237 か国を生かすことができる答えはレムナントだ。</p> <p>1) 創 41:38 ヨセフがファラオから総理指名を受ける。</p> <p>2) 出 5:1-12:46 エジプトに 10 の奇跡が起こると全世界が皆知るようになった。</p> <p>3) I サム 17:1-47 ダビデ 1 人がペリシテを完全に打ち破ってしまったのだ。</p> <p>4) ダニ 1:8-9 捕虜になって行っても、このようなレムナントだけいれば世界を生かすことができる。</p> <p>5) ヨハ 21:15-18 イエスが「子羊を飼いなさい」十字架を背負って行きながらも、「あなたの子どもたちのために泣きなさい」と言われた。</p> <p>2. 5000-TCK - 5 千種族を生かす答えは TCK だ。</p> <p>1) 使 17:1 2) 使 18:4 3) 使 19:8</p> <p>△パウロが遠く見通して会堂で弟子を育てたのだ。</p> <p>□結論_北朝鮮</p> <p><u>CCK</u> 完全に暗い側、反対側の文化を持っている次世代</p> <p><u>NCK</u> 90%は文化がない。</p> <p>△門を開ければ生きるが、門をみな閉じておいて、悟れないのだ。神様のみこころは多民族だ。ある面では一つの民族だ。それを悟れなければ、続けてわざわいが臨む。</p>	<p>□序論_24</p> <p>1. 朝-1:1 呼吸連続、一つの呼吸に 10 秒、吸い込む時 7・7・7 一つずつ、息を吐き出すとき牧師たち、北朝鮮のために祈り</p> <p>2. 昼-すべてを祈りに変えなさい。下丹田に基準を置きなさい。</p> <p>3. 夜-深い祈り(1:2:4 呼吸)</p> <p>1. わざわいの中にあるこの時代-戦争を起こす強大国、独裁者、誤った理念、限らない戦い</p> <p>2. のろい</p> <p>3. 暗闇の中にいる人々-なぜ生きるのか理由を分らない若い層(傷、揺れる信仰生活-祈りに完全に変えなければならない)</p> <p>福音平和統一-北朝鮮を生かす唯一の方法、この奥義(朝、昼、夜)をもって祈る時</p> <p>1. 霊的な風が起こり 2. 戦わずに勝つ 3. 暗闇縛られる</p> <p>□本論_サマリア伝道のような北朝鮮宣教</p> <p>1. 歴史-ソロモン王がそばめとして入ってきたほかの国の女王の偶像崇拝を許した、偶像の町になったイスラエル、国分裂。北イスラエルの首都がサマリア</p> <p>B. C. 722 アッシリア侵略-北イスラエルの男は奴隷として売られて異邦人の奴隷と北イスラエルの女たちが結婚</p> <p>B. C. 586 バビロンに捕虜になった南ユダ-バビロンから帰ってきた南ユダはそのまま維持したが、イスラエルは偶像崇拝で難しい国になった</p> <p>2. 北朝鮮に最も必要なことは福音</p> <p>1) 福音だけを伝える伝道弟子 2) ただキリスト 3) ただ癒やしが必要</p> <p>△これが準備されれば神様は平和的に北朝鮮に門を開かれるだろう。</p> <p>3. 方法-北朝鮮にレムナントが起きたり、レムナントが北朝鮮に入って福音運動起きなければならない。それゆえ、パウロがいのちをかけて会堂に入り込んだ。ここに絶対やぐらを作らなければならない。</p> <p>1) 使 17:1 2) 使 18:4 3) 使 19:8</p> <p>エペ 6:12 私たちの戦いは主権、権威者、犯罪集団、おかしな宗教を作って掌握しているサタンとの戦い</p> <p>ヨハ 16:11-14 目に見えないようにあらゆる事を握って王になるサタン</p> <p>II コリ 4:4-5 世の神 II コリ 10:4-5 人の中にやぐらを建てて要塞を作る。</p> <p>マタ 12:26-30 個人の中に入って掌握していること</p> <p>福音を受けて救われる瞬間終わったこと、ひっくり返ること</p> <p>ヨハ 14:16 救われる瞬間、聖霊が私たちの中に働く</p> <p>I コリ 3:16 あなたがたが神の宮、神様の聖霊があなたがたの中に。それゆえ、聖霊に満たされれば力を受けて、地の果てまで証人になる。</p> <p>△24 祈りを見つけ出して北朝鮮を置いて祈りなさい。</p>
	<p>△散らされた弟子たち 散らされた弟子たちの福音運動(使 17:1)</p> <p>散らされた弟子たちは、だれを握って福音運動すべきなのか。</p> <p>1. 留学生 それゆえ会堂が出てくるのだ。</p> <p>2. 難民、TCK、CCK、NCK</p> <p>3. 流浪の民</p> <p>このような人々を置いて入り込むのが、聖書には散らされた者、寄留者(旅人)、レムナント。レムナントは二種類の意味がある。残りの者、捨てられた者。捨てられた者のように見えるが残りの者だ。</p>	

△区域メッセージ第 47 週 アンティオキアの道しるべと永遠の答え(使 11:19-30)	△聖日 1 部 感謝しつつ神に求めなさい(ピリ 4:1-7)	△聖日 2 部 伝道者の現住所(ピリ 4:10-20)
<p>□序論 レムナントは小学校に入り始めれば、事実上、悩みが始まる。親には話をしないが勉強、課題、環境、このような部分が難しい。また、中学校に入れば、さらに深刻になり、高等学校に入れば、ほとんど未来が決定される。そして、大学入って青年になれば、そうではないようにだますのだ。このレムナントの霊的状态はどうなるだろうか。祈りを教えなかったから、脳が休むことができないのだ。家族、友だちに慰めを受けるが、霊的なことが解決できない。それゆえ、結婚してもさらに難しくなればならない。それゆえ、レムナントに祈りが何であるかを教えなければならず、その部分を見つけて味わうようにしなければならぬ。</p> <p>ヨハ 19:30 カルバリの丘で完了された。 使 1:3 オリーブ山で背景を説明、何の祈りをすべきなのか説明された 使 2:1-47 マルコの屋上の部屋で聖霊の満たしを体験した。 使 11:19 アンティオキア教会の道しるべだ。パウロをここに送った。 使 13:1-4 初めての宣教地でこの答えをみな受け、完全に聖霊に導かれるようになった。 使 16:6-10 アジアの門が開ざされて、マケドニアに行った。 使 19:21 ローマも見なければならぬ。 △ピリ 4:6-7 レムナントに少しだけ祈りを教えて、祈るようになれば心と思いを守られるようになる。これが「やぐら」、「旅程」であり、道しるべに行くことだ。</p> <p>□本論 <u>アンティオキア(使 11:19)</u> ステパノの迫害によって散らされた者たちで、確実な契約を持った者だ。</p> <p>1. 答えを受ける時刻表 1) 力 私たちは御座の力を味わっているので迫害が来て大丈夫だ。 2) 使 7:1-60 ステパノが死んだ現場にパウロがいた。ダマスコに行くとき、福音に会ったのだ。 3) 散らされた者たち 神様の力を知っているので大きな時刻表、世界宣教の大きな門が開かれたのだ。</p> <p>2. 使命回復する時刻表 1) 使 11:25-26 迫害を受けるアンティオキア教会でバルナバとパウロの出会いが成り立った。 2) このことの中で世界宣教が起きた。 3) バルナバとパウロは神様の命令を受けて出て行った最初の宣教師だ。</p> <p>3. 世界を生かす時刻表 1) 使 11:28-30 天下に飢饉が起こったがアンティオキア教会だけ祝福を受けた。 2) この教会を通して全世界の門、特に多民族に門が開き始める。 3) マケドニア 所々にパウロが絶対やぐらを建てる。</p> <p>□結論 1. 福音 私たちの中には福音を味わっている。 2. 伝道、宣教という祝福が残っている。 3. 祈りシステムだけ備えれば世界福音化ができる。</p>	<p>□序論 1. 困難の中で一番感謝した聖書の代表的人物 1) ダビデ 2) パウロ 3) ダニエル 2. 彼らが感謝した理由-神様の正確で確実な契約と祝福を発見 1) 神様は皆さんを祝福することを願われる。 2) ただし(ただ)祈りと願いによって、祈りを分かれば神様の平安があなたがたの心、思いを守られる。 3. 神様の正確な契約と祝福を見るける方法-神様が準備された三つのこと 1) 私の中に 100%御座のやぐら準備(ヨハ 14:16、26) 2) 皆さんの旅程を 100%準備(マタ 28:20、使 1:8) 3) 困難は証拠をたてる道しるべ。システムと未来を 100%準備 ※イエス様がこの祈りだけしなさいと言われた(マタ 6:33、使 1:3)</p> <p>□本論 1. レムナントと青年たち-学業 300%準備 1) 祈れが良い。神様によって可能だ。 2) 神様が与えられたやぐら、旅程、道しるべを完全に準備しなさい。 3) モデル (1) 幼い時にあらかじめ持っていた人々-ヨセフとサムエル ※レムナントは今日から祈りなさい。すると御座のやぐら、旅程、道しるべが 300%生じる。 (2) 遅く悟った人-モーセ 2. 信徒と重職者-職業に 300%準備 1) アブラハム 決断を下してすべてを譲歩した後、祭壇を築き始めた 2) ヨケベデ 祈りの奥義 300%専門性の中でモーセを生かすことができる道を見 3) 遊女ラハブ うわさだけ聞いて主がまことの神様であることを告白、情報伝達、カナン入城、その子孫がダビデ 4) オバデヤ 王の臣下、エリヤの弟子、預言者 100 人を隠して霊的戦いの橋の役割 3. 教役者-伝道、宣教 300%回復 1) キリストで答えが出なければならぬ。それでこそ、一般信徒にまことのことを与えることができる。 ※ただキリストの他は反キリストだ。サタンが一番恐れることが、ただキリストだ。 2) 完全に聖霊の導きを受けなさい。 3) 世の中が変えることはできない病んでいる者に行き癒やしたパウロ 4) 会堂に入ったパウロ キリストの当為性、礼拝と祈り、まことの答えである神の国を説明→会堂で育った人物がローマを変えた。 5) パウロの告白(ピリ 3:7-21) キリストの手で捕えられたこと、上から与えられる賞、天国の国籍</p> <p>□結論 1. 神様の特別な計画と祝福を発見するには 1) 計算でない契約 2) 利益、損害でない神様との関係 3) 今日でない未来 2. 私たちの信仰が予算であり神様の祝福が決算だ。 3. いつも感謝(I テサ 5:16-18) ※答えを見つかるだけで、契約を握るだけで答えが与えられる。</p>	<p>答えを受ける実際的なこと ピリ 4:13 私を強くしてくださる方であって生きている。これが現住所だ ヨハ 15:7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。 1 コリ 3:16 あなたがたは、自分が神の宮であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。 ピリ 2:13 神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。 □序論_キリスト(創 3:15、出 3:18、イザ 7:14、マタ 16:16)にあって三位一体の神様が目に見えないように聖霊とともに 1. 問題、葛藤、危機の中に、すでに答えを持って行くこと(キリストの<u>光</u>を持って行くことだから<u>暗闇</u>が崩れる。) 2. 御座のやぐらを私の中に建てて、旅程、道しるべ行くように呼ばれた(祈りで 300%を作るとき働き) 3. 24(味わい)、25(神の国を待つ)、永遠(生かす働き、永遠の作品に挑戦)</p> <p>□本論 1. <u>巡礼者</u>の道を行くべき-<u>私の 100%</u> 1) ヨハ 14:16 父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるように 2) ヨハ 14:26 聖霊があなたがたに臨めば、すべてのことを思い起こさせてくださる 3) ヨハ 16:13 これから起こることをあなたがたに伝えてくださる 4) 使 13:1-4 現場に行って完全に聖霊の導きを受けた。 5) 使 16:6-10 門がふさがったとき、聖霊に導かれたがマケドニアに。 6) 使 19:1-7 ティラノに行く前にマルコの屋上の部屋にあった力、そのとおりに 2. <u>治療者</u>の道を行くべき-<u>現場 100%</u> 1) マコ 16:15-20 わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んででも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされる 2) 使 1:8 聖霊に満たされれば力を付けて地の果てまで証人になる 3) 使 13:5-12 暗闇に覆われた町を癒やし 4) 使 16:16-18 悪霊につかれた者を癒やし 5) 使 19:8-20 不治の病の者を癒やし 3. <u>見張り人</u>の道-暗闇に陥っているので、やぐらを建てて光を照らすこと 1) 使 17:1、18:4、19:8 会堂で 2) 使 19:21、23:11、27:24 ローマに 3) ロマ 15:23 イスパニア</p> <p>□結論_暗闇征服する<u>征服者</u>-<u>權威</u>ある祈りを使いなさい。 使 3:1-12 ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい 使 8:4-8 イエス・キリストの名によって祈り→悪霊が離れて病気が癒やされる 使 16:16-18 ナザレのイエス・キリストの名によっておまえに命じる、この女から出て行け。 ピリ 3:21 万物を従わせる御名 ヨハ 14:14 イエス・キリストの名によって △イエス・キリストの御名によって、すべての暗闇、のろい、不信仰、サタンの權威が縛られることを祈りなさい。RCAの祈りを願います。</p>